

つとむ まなぶ むすぶ

よろこび

2017年6月号 (No.13)

CONTENTS

- ② 第21回鹿嶋市美術展覧会
- ② 市民カレッジ講座年間予定
- ③ 市民センのひろば ほか
- ③ 地域レポート・まちづくり探検隊
スポーツ吹矢はまなす支部
- ④ INTERVIEW ROOM・きらり★まちづくり
「鹿嶋市まちづくり連絡協議会会長・大熊 利春さん」



鹿嶋市まちづくり研究会および交流会



かしま灘楽習
「フラダンス」



城山太極拳の会



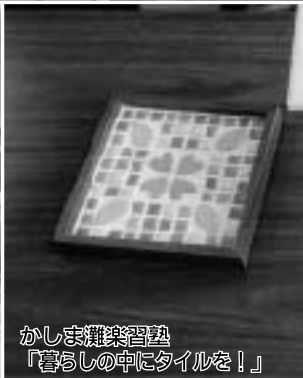
かしま灘楽習塾
「誰でも簡単に★生活に役立つアロマ教室」



かしま灘楽習塾
「初めての社交ダンス」



かしま灘楽習塾
「鹿嶋の歴史～知って得する講座～」



かしま灘楽習塾
「暮らしの中にタイルを！」



かしま灘楽習塾
「暮らしの中にタイルを！」



かしま灘楽習塾
「おしゃれて、モダンないけ花 草月流」



かしま灘楽習塾
「かんたんエアロビクス」

第21回鹿嶋市美術展覧会が開催されます



▲昨年の展示会場の様子

絵画や陶芸など、日頃様々な創作活動を行っている市民の方々の作品を公募し、展示することで、より一層の創作意欲の向上と芸術文化の啓発・普及を目的として行われる展覧会です。

昨年も絵画・書道・写真・工芸、4部門で多数の作品が展示されました。

会場へ足を運び鹿嶋の芸術文化にふれてみませんか。

日程	6月27日(火)～7月2日(日) 9:30～17:30 ※最終日は16:00終了
部門	絵画／書／写真／工芸
対象者	市内在住・在勤の方 及び鹿嶋市出身者
会場	鹿嶋市まちづくり市民センター体育館

【問合せ】 鹿嶋市文化協会事務局 TEL 090-5528-6297
鹿嶋市まちづくり市民センター TEL 83-1551

平成29年度 市民カレッジ講座 参加者募集

まちづくり市民センターでは、市民の誰もが生活スタイルに応じて自由に学び、楽しみ、一人ひとりが輝くために日常生活に密着した学びの場を提供しています。

対象 市内在住・在勤・在学の方

申込方法 希望する講座名・住所・氏名・電話番号・年齢・性別を記入し、FAXまたは直接窓口で申込み、電話も可。※申込書は、まちづくり市民センターのホームページからもダウンロードできます。

問合せ 鹿嶋市まちづくり市民センター
TEL 83-1551/FAX 83-1553

講座名	開催日時	受講料	募集人数	申込締切
Dr.ナダレンジャーの 自然災害科学 実験教室 ※市内の小中学生を対象	7月28日(金) 9:30～12:00	100円 (材料費等)	60名	7/14(金)
あなたは大丈夫？ ごみの分別と 減量化	9月26日(火) 13:30～14:30	無料	20名	9/12(火)
歴史ウォーキング	10月20日(金) 時間未定	200円 (保険代等)	20名	10/6(金)
一緒に茨城を 売り出ませんか？	12月7日(木) 13:30～14:30	無料	20名	11/23(木)

※各講座の詳細については広報「鹿嶋」に掲載予定です。

安心・安全を基本に

鹿嶋市まちづくり連絡協議会

会長 **大熊利春** さん
(下津ヶ丘)



鹿嶋市まちづくり連絡協議会

市内10地区にあるまちづくり委員会委員とまちづくりセンター職員で構成する組織。10地区それぞれ各地域の状況に応じたまちづくり活動を実践しているなかで、相互の活動の情報交換や研究、研修、協議を行い、それぞれのまちづくり活動の更なる向上発展を目指しています。

転勤で鹿嶋市へ

生まれは宮城県塩竈市。松島湾の観光遊覧船船着き場から1Kmもない内陸にあった実家は、東日本大震災で4mの津波被害を受けたといいます。

昭和43年、総合職として住友金属工業株式会社（現新日鐵住金株式会社）に入社、5年間は和歌山勤務、その後昭和48年5月に転勤で鹿嶋市（当時鹿島町）へ。

地域とのかかわり

会社では主に企業内教育を担当する部署に所属してきましたが、労働組合執行部を担うことになり、このときに地域涉外、制度要求、政策要求にあたるなかで、地域や行政との関わりが深まったといいます。平成22年に定年を迎えたのを機に下津ヶ丘区の副区長、次の年には区長に

なり現在7年目、三笠地区まちづくり委員会委員長は3年目を迎えています。下津ヶ丘区長は新日鐵住金鹿島の総務出身が3代続いており、「定年を迎えたら地域のために」という新日鐵住金鹿島総務の伝統が引き継がれているようです。

めざす地域づくりまちづくり

基本は今も昔も変わっていないといえます。ひとつが、子どもやお年寄りのための地域。子どもやお年寄りに思いやり、気配り、目配りのできる地域社会であること。ふたつが、いざという時、大地震や台風など大災害が発生した時に防災・減災・避難など互助の力が発揮できること。そのためには、日常生活の中で住民同士心のつながり、顔の見える関係づくりが欠かせない。自治会活動、ご近所活動にしろ、住む人は変わっていくなかで顔の見える関係を維持していくための交流があることが基本であり、できればその交流が拡大していければいい。何かあったときのお互い様も、普段の付き合いあつてのことです。

活動のモットー

楽しくやれることが一番。役員も楽しくやれるようにすることが大切と思っています。楽しくなくては、長続きしない。集まった人たちの互

いの立場を尊重して、それぞれの役割、責任を分かち合いながら、そのひともっている得意なこと、それなら楽しくできるという部分を引きだして、そうした部分を重ね合わせて、活動を広げていきたい。それが神輿に乗せられた者の役割と思っていますし、鹿嶋市総合計画が掲げた市民共創のまちづくりのめざすところでもあると思っています。

家庭では

趣味は、サッカー観戦。スタジアムでは年間指定席で毎試合観戦ですが、水曜日は地区まちづくり会議があり会議優先。また、元職場から請われて現役復帰して1年半、現役時代と同じ忙しさ。夫人に倣って健康のためにウォーキング、スロージョギングを始め、全国の大会に参加しているそうです。お子さん3姉妹が埼玉、北海道、沖縄に嫁ぎ、孫に会いに大会参加、大会後に温泉にはいるのも楽しみといいます。朝5時に起きてウォーキング、夜9時には就寝の早寝早起き健康生活が続いています。

夫婦で健康、7月には7人目のお孫さんも誕生予定とか。私生活の充実あって、地域活動、まちづくり活動もますます充実が期待されます。



▲この日はご夫婦で「日光杉並木マラソン」に参加



▲まちづくり研修会・交流会で、錦織市長（写真中央）／講師の茨城NPOセンター・コモンズ大野氏（写真左）と共に

<PROFILE>

■おおくま・としはる
宮城県塩竈市生まれ。昭和48年和歌山市から転入し鹿嶋市在住44年。現在、下津ヶ丘区長（7年目）、三笠地区まちづくり委員会委員長（3年目）